



2月8日(金)から宝塚大劇場で上演

ミュージカル・プレイ『黎明の風』—侍ジェントルマン 白洲次郎の挑戦—  
グランド・レビュー『Passion 愛の旅』



白洲次郎を演じる轟悠さん(左)とマッカーサー役の大和悠河さん ©宝塚歌劇団

昭和のダンディズム  
誇り高き生涯を舞台に

宝塚歌劇

独自の人生美学を貫いた  
白洲次郎をクローズアップ

今公演のミュージカル・プレイ『黎明の風』—侍ジェントルマン 白洲次郎の挑戦—は、吉田茂の懐刀として、終戦処理に奔走し、日本の復興に尽力する中、独自の人生美学を貫いた生き方が、今、注目を集めている白洲次郎(1902年〜1985年)の生涯をクローズアップした物語。妻である作家・白洲正子との夫婦愛や、敵対

する者との友情を通し、平和へのメッセージを込めた、壮大なミュージカルです。少年時代から、けんかの絶えない暴れん坊だった白洲次郎は、イギリスへ留学し、ケンブリッジ大学に入学。イギリス紳士の洗練されたセンスを身につけ、帰国します。

宙組によるパワーあふれるステージを

一方、華族出身のおてんばな令嬢・正子も、アメリカ留学から帰国。お互いの留学経験から、引かれ合い、結婚します。

今回のステージでは、宙組のメンバーに加え、専科の轟悠さんも特別出演する、豪華キャストが話題です。自分の信念を持ち、時代の荒波を乗り切る白洲次郎役には、轟さんをキャストینگ。ダンディーな役どころで、実力を存分にみせてくれそう。また、マッカーサー役

には、主演男役の大和悠河さんが扮し、GHQを率いた連合国軍最高司令官という、これまでとは違う、まったく新しい役柄で、新境地を見せてくれそうです。そして「草駄天お正」の異名を持つほどの、おてんば娘・白洲正子には、主演娘役の陽月華さんを配役。娘役の中でも、独特の個性が光る陽月さんの演技に

も、注目したいですね。魅力あふれるキャストインクで、期待が集まるこのステージが、ついに2月8日(金)から、宝塚大劇場で上演されます。華やかな舞台を楽しんで。料金 S席11万円▽S席75000円▽A席55000円▽B席35000円。

今、注目を集める  
白洲次郎の魅力をチェック!

長身でハンサム、英国仕込みの語学力と、今でも十分に通用するカッコいい白洲次郎ですが、その人物像には、さらに女性をひきつける魅力が、その一部を紹介してみましょう。

■洗練されたセンス

1902年芦屋市で、三田藩の儒学者の家系に生まれる。英国・ケンブリッジ大学に留学し、西洋の洗練されたセンスを身につけ、日本で初めてジーンズをはいた男、といわれている

■リスクマネジメント力

第二次世界大戦阻止に努めたが、開戦すると同時に、田舎に移住し、農業を始める。空襲や食糧不足に備えた、先見性のあるリスクマネジメントだった

■プリンシプル(人生の美学)

常に自分のプリンシプル、を貫いた彼。敗戦後、吉田茂からGHQとの交渉役を任せられた際も、「戦争に負けたからといって、奴隷になった訳ではない」とマッカーサーを恫喝し、従順ならざる唯一の日本人、といわしめた。



撮影・演出活

問い合わせ  
宝塚歌劇インフォメーションセンター  
☎0570(00)5100  
午前10時~午後5時、水曜休  
※一部の携帯電話、PHS、IP電話は使えません。  
<http://kageki.hankyu.co.jp/>



白洲正子を演じる陽月華さん ©宝塚歌劇団